

平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成31年2月8日

上場会社名 栗林商船株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9171 URL <https://www.kuribayashishosen.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 栗林 宏吉  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長 (氏名) 小谷 均 (TEL) 03-5203-7982  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	35,506	1.9	1,153	△32.2	1,410	△24.6	1,062	△24.8
30年3月期第3四半期	34,830	4.8	1,700	△12.2	1,871	△7.0	1,413	16.9

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △125百万円( -%) 30年3月期第3四半期 3,264百万円( 49.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	84.37	—
30年3月期第3四半期	112.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	54,638	20,217	31.2
30年3月期	54,966	20,430	31.4

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 17,027百万円 30年3月期 17,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	0.1	1,400	△25.9	1,600	△20.2	1,300	△15.0	103.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	12,739,696株	30年3月期	12,739,696株
31年3月期3Q	152,719株	30年3月期	151,645株
31年3月期3Q	12,587,433株	30年3月期3Q	12,590,014株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調が続くものの、消費者の節約志向や人手不足、貿易摩擦の懸念等、先行きは不透明な状況が続いております。海外においては、米国経済は堅調であるものの通商政策や金融政策の不透明感による懸念、欧州の不安定な政治情勢、中国経済では米国との通商問題の影響もあり消費の減速が鮮明になりつつある等、予断を許さない状況が続いております。

この様な経済情勢の中で当社グループは、海運事業においては近海航路は堅調に推移しておりますが、北海道定期航路では大宗貨物の紙製品の減少、自然災害による影響がありましたが、原油価格が下落に転じ燃料費が減少したことで減益幅が縮小いたしました。

ホテル事業においては、訪日外国人客数の増加を背景に経営環境は堅調であります。耐震補強工事と客室改装による客室減室や続発した自然災害による多量のキャンセルや国内外のツアー客の落ち込みもあり、減収・減益となりました。

不動産事業は概ね順調に推移しております。

以上の結果、売上高が前年度に比べて6億7千5百万円増(1.9%増)の355億6百万円、営業利益が前年度に比べて5億4千6百万円減(32.2%減)の11億5千3百万円、経常利益が前年度に比べて4億6千万円減(24.6%減)の14億1千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年度に比べて3億5千万円減(24.8%減)の10億6千2百万円となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりであります。

#### (海運事業)

海運事業の内、北海道定期航路では、今年5月末航路改編を行い、清水への定期航路開設と大阪への増便を開始し、雑貨や商品車両の集荷に積極的に取り込んでまいりました。しかし、第2四半期までは燃料油の上昇や、相次いで発生した台風や北海道胆振東部地震の影響で収益は落ち込みました。第3四半期においては、原油価格が下落に転じたことと気象が安定し順調に配船が出来たことから輸送量が堅調に推移し、収益が回復したことで減益幅は縮小いたしました。近海航路については市況は回復基調にあるものの収益力はまだ弱い状況が続いておりますが、三国間定期航路については堅調に推移いたしました。これらの結果、売上高は前年度に比べて9億5千8百万円増(2.9%増)の336億円となり、営業費用は前年度に比べて13億3百万円増(4.2%増)の326億3千1百万円で、営業利益は前年度に比べて3億4千5百万円減少の9億6千9百万円となりました。

#### (ホテル事業)

訪日外国人個人旅行客の増加や好調な国内需要を背景に経営環境は概ね堅調に推移しておりますが、耐震補強工事と客室改装による客室減室や相次ぐ自然災害による訪日外国人の一時的な減少、北海道胆振東部地震による多量の宿泊キャンセル、国内ツアー客ならびに海外ツアー客の減少によって、売上高は前年度に比べて2億8千1百万円減(16.2%減)の14億5千4百万円となり、営業費用は前年度に比べて8千万円減(5.2%減)の14億7千3百万円で、営業利益は前年度に比べて2億円減少の1千9百万円の営業損失となりました。

#### (不動産事業)

前年度と同様に順調に推移しており、売上高は5億1千1百万円となり、営業費用は3億7百万円で、営業利益は2億3百万円と前年度並で推移しました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期末の資産の残高は、前期末に比べて3億2千8百万円減少の546億3千8百万円となりました。これは主に、保有株式の時価下落による投資有価証券の減少の一方で、売上高増加に伴う売上債権、設備投資に伴う建設仮勘定の増加によるものであります。

負債の残高は、前期末に比べて1億1千4百万円減少の344億2千万円となりました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴う繰延税金負債の減少の一方で、売上高増加に伴う仕入債務の増加及び借入金の増加によるものであります。

純資産の残高は、前期末に比べて2億1千3百万円減少の202億1千7百万円となりました。これは主に、保有株式の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループ全体の業績は、計画の範囲内で推移しており、現段階におきましては平成30年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,189,653	7,278,214
受取手形及び売掛金	9,117,536	9,617,687
商品及び製品	48,190	49,310
原材料及び貯蔵品	223,679	270,990
未収入金	337,519	355,101
その他	318,400	429,832
貸倒引当金	△629	△811
流動資産合計	17,234,349	18,000,324
固定資産		
有形固定資産		
船舶	26,449,736	26,484,810
減損損失累計額	△502,000	△502,000
減価償却累計額	△19,534,208	△20,170,403
船舶(純額)	6,413,527	5,812,407
建物及び構築物	21,866,867	22,308,185
減価償却累計額	△16,995,078	△16,872,485
建物及び構築物(純額)	4,871,789	5,435,700
機械装置及び運搬具	10,362,379	10,456,421
減価償却累計額	△8,769,734	△9,179,975
機械装置及び運搬具(純額)	1,592,645	1,276,446
土地	9,470,971	10,160,971
リース資産	1,782,409	1,915,640
減価償却累計額	△1,035,168	△1,146,667
リース資産(純額)	747,241	768,972
建設仮勘定	734,621	1,050,062
その他	2,165,052	2,308,871
減価償却累計額	△1,813,841	△1,918,782
その他(純額)	351,211	390,089
有形固定資産合計	24,182,007	24,894,650
無形固定資産		
借地権	1,033,258	1,033,258
ソフトウェア	53,494	37,550
のれん	166,329	150,146
その他	52,886	40,689
無形固定資産合計	1,305,967	1,261,645
投資その他の資産		
投資有価証券	11,031,139	9,187,852
長期貸付金	793	547
繰延税金資産	269,935	318,380
保険積立金	493,738	516,994
その他	453,249	464,098
貸倒引当金	△35,489	△35,345
投資その他の資産合計	12,213,368	10,452,528
固定資産合計	37,701,343	36,608,824

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>繰延資産</b>		
社債発行費	30,536	28,867
繰延資産合計	30,536	28,867
資産合計	54,966,229	54,638,016
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,139,533	6,623,327
短期借入金	5,780,284	5,196,487
1年内返済予定の長期借入金	2,283,227	2,540,885
1年内期限到来予定のその他の固定負債	405,105	402,228
1年内償還予定の社債	1,143,160	688,160
リース債務	200,500	218,149
未払法人税等	482,159	270,753
賞与引当金	400,397	146,154
その他	1,061,601	1,155,742
流動負債合計	17,895,969	17,241,887
固定負債		
社債	978,200	1,309,120
長期借入金	5,619,903	6,477,550
長期末払金	4,124,226	3,865,255
リース債務	642,831	635,836
繰延税金負債	1,925,631	1,493,173
役員退職慰労引当金	708,443	740,846
退職給付に係る負債	1,999,888	2,083,706
負ののれん	439,677	378,860
その他	200,640	194,491
固定負債合計	16,639,440	17,178,841
負債合計	34,535,410	34,420,728
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,215,035	1,215,035
資本剰余金	946,704	946,704
利益剰余金	11,364,082	12,350,589
自己株式	△41,351	△42,001
株主資本合計	13,484,469	14,470,327
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,793,191	2,557,847
繰延ヘッジ損益	△1,196	△758
その他の包括利益累計額合計	3,791,995	2,557,089
非支配株主持分	3,154,353	3,189,871
純資産合計	20,430,819	20,217,288
負債純資産合計	54,966,229	54,638,016

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	34,830,668	35,506,019
売上原価	28,216,727	29,464,209
売上総利益	6,613,941	6,041,809
販売費及び一般管理費	4,913,676	4,888,253
営業利益	1,700,265	1,153,556
営業外収益		
受取利息	233	299
受取配当金	235,435	243,319
助成金収入	41,891	14,323
負ののれん償却額	60,817	60,817
持分法による投資利益	—	26,902
受取保険金	28,896	63,596
その他	62,736	65,529
営業外収益合計	430,010	474,786
営業外費用		
支払利息	202,292	178,349
その他	56,841	39,703
営業外費用合計	259,133	218,053
経常利益	1,871,142	1,410,289
特別利益		
固定資産処分益	478,196	9,719
保険解約返戻金	1,448	337
補助金収入	32,300	226,501
その他	2,596	10,691
特別利益合計	514,542	247,249
特別損失		
固定資産処分損	11,248	967
役員退職慰労金	5,622	—
仲裁裁定による損失	159,684	—
その他	1,985	533
特別損失合計	178,540	1,501
税金等調整前四半期純利益	2,207,144	1,656,037
法人税、住民税及び事業税	572,844	389,419
法人税等調整額	60,499	91,684
法人税等合計	633,343	481,103
四半期純利益	1,573,800	1,174,933
非支配株主に帰属する四半期純利益	160,794	112,898
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,413,006	1,062,035

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	1,573,800	1,174,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,689,819	△1,300,384
繰延ヘッジ損益	688	437
その他の包括利益合計	1,690,508	△1,299,946
四半期包括利益	3,264,308	△125,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,037,365	△172,870
非支配株主に係る四半期包括利益	226,943	47,858



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,641,741	1,735,739	453,187	34,830,668	—	34,830,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	60,085	60,085	△60,085	—
計	32,641,741	1,735,739	513,273	34,890,754	△60,085	34,830,668
セグメント利益	1,314,144	181,852	204,267	1,700,265	—	1,700,265

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	海運事業	ホテル事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	33,600,378	1,454,012	451,628	35,506,019	—	35,506,019
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	59,906	59,906	△59,906	—
計	33,600,378	1,454,012	511,535	35,565,925	△59,906	35,506,019
セグメント利益又は損失(△)	969,034	△19,104	203,625	1,153,556	—	1,153,556

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## (1) 最近における四半期毎の業績の推移(連結)

## 平成31年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成30年4月1日 至平成30年6月30日	自平成30年7月1日 至平成30年9月30日	自平成30年10月1日 至平成30年12月31日	自平成31年1月1日 至平成31年3月31日
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,491	11,308	12,705	
営業利益	8	383	761	
経常利益	121	384	903	
税金等調整前四半期純利益	123	601	930	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	123	362	575	
1株当たり四半期純利益	円 9.79	円 28.82	円 45.76	円
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	55,589	56,059	54,638	
純資産	20,291	21,328	20,217	

## 平成30年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	自平成29年4月1日 至平成29年6月30日	自平成29年7月1日 至平成29年9月30日	自平成29年10月1日 至平成29年12月31日	自平成30年1月1日 至平成30年3月31日
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	11,295	11,973	11,561	11,139
営業利益	181	861	657	188
経常利益	281	865	723	135
税金等調整前四半期純利益	127	1,324	755	176
親会社株主に帰属する 四半期純利益	91	908	413	116
1株当たり四半期純利益	円 7.27	円 72.14	円 32.83	円 9.24
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	54,774	54,550	55,815	54,966
純資産	18,125	19,438	20,824	20,430